

実施調査の実態について

1. アンケート調査

(1) 調査概要

<市民対象>

- 無記名式の調査票による調査とし、郵送により実施します。
- 調査票は、経年による比較分析ができるよう、前回調査時(H31実施)の調査票を基本として設計しつつ、近年の社会動向等をふまえ、新規設問を追加しています。
- 調査票の種類については、障がい種別によらず一つの様式としています。
- 今回は児(18歳未満)と者(18歳以上)で調査票を別にします。

<事業所対象>

- 記名式の調査票を用いて、郵送により実施します。
- 調査票は、経年による比較分析ができるよう、前回調査時(H31実施)の調査票を基本として設計しつつ、近年の社会動向等をふまえ、新規設問を追加しています。

(2) 調査対象

<市民対象>

- 令和7年8月1日現在の各手帳所持者のうち、下表の通りを調査対象の区分、それぞれの配布数とします。
- なお、身体障がいのある人については、介護保険サービスの給付が原則となる65歳以上の人とそれ以外の人を分けて、それぞれが有効な調査となるよう配布数を定めます。

調査対象の区分		抽出方法	配付数
障がいのある児童(18歳未満)		無作為抽出	500件
精神障がいのある人		無作為抽出	500件
知的障がいのある人(精神障がい重複の人を除く)		無作為抽出	500件
身体障がいのある人 (知的・精神障がい重複の人を除く)	65歳未満の人	無作為抽出	500件
	65歳以上の人	無作為抽出	500件
計			2500件

※令和7年3月末現在の値で仮設定。下記の数値は障がいの重複を含む。

※児童発達支援や放課後等デイサービス等の児童サービス実利用人数は517人

※精神障害者手帳所持者は853人。

※療育手帳所持者は769人。【うち18歳未満150人、18歳以上619人】

※身体障害者手帳所持者は5,193人。【うち18歳未満57人、65歳未満907人、65歳以上4,229人】

<事業所対象>

○原則、令和7年度当初に長岡京市民の利用のあった事業所(約 160 か所)を対象とします。

(3)調査スケジュール

- ・9月上旬アンケート発送
- ・9月下旬アンケートの回収(アンケートの回答期間は約 2 週間)
- ・10月アンケート集計、ヒアリング調査
- ・11月～1月報告書作成、課題分析
- ・2月18日の部会にて報告

2. ヒアリング調査

○関係団体を対象とした個別又はグループ単位でのヒアリング調査の実施を予定しています。

○はじめに各団体にヒアリング用シートを配布し、ご記入いただいた後、必要に応じて面談による聞き取り調査を行うかたちでの実施を想定しています。

○現在、予定している調査対象は以下の通りです。今後増える可能性があります。

区分	調査対象
当事者団体	●長岡京市身体障がい者団体連合会 (肢体障がい者協会／視覚障害者協会／中途失聴・難聴者協会／ろうあ協会) ●京都喉友会 ●京都言友会 ●日本オストミー協会京都府支部 ●京都難病連
家族会等	●乙訓障害児父母の会 ●乙訓手をつなぐ親の会 ●乙訓やよい会 ●乙訓心臓病の子どもを守る会
事業所	●乙訓福祉施設事務組合 ●長岡京市社会福祉協議会 ●乙訓福祉会 ●長岡記念財団 ●こらぼねっと京都 ●あらぐさ福祉会 ●向陵会 ●てくてく ●乙の国福祉会 ●乙訓やよい福祉会 ●乙訓障害者事業協会 ●暮らしランプ ●海印寺徳寿会(竹の里ホーム) ●乙訓介護サービス ●ネットワークすてっぷ ●フレンドリー(ライトホープ) ●道(Go Way) ●リアントレッド ●鴻(エコデコ、GH 寿樹) ●ENDEAVOR JAPAN ●友愛之郷 ●友愛サポート ●京都国際社会福祉協力会(のぞみ工房) ●重陽舎(GH たろすけ) ●ソーシャルワーカーオフィス be alive ●ぼ〜っと project(TemTem) ●greengrass(みどり kids) ●長岡京障がい福祉療育会(たけのこ) ●からふる乙訓 ●ホップすてーしょん ●令和(ピーナッツ) ●乙訓聴覚言語障害者地域活動支援センター ●やまびこ ●東包括支援センター ●西包括支援センター ●南包括支援センター ●北包括支援センター
学校	●支援学校 ●支援学校PTA ●支援学級